

切る お仕事

準備もの：

- 子ども用ハサミ
- 切る紙を入れておくもの
- 切ったものを入れておくもの

おどろぐ箱のフタや
テッシュの空き箱などで
代用可



切る紙

- ① 画用紙位の厚み
- ② 1回で切り落とせる幅 (1.5cm位)
- ③ 端を持ち、重みで紙が下がらなくなる位 (12・13cm位) の長さ



線の上を切る



クレヨンで線を入れた紙

線に太さがあることで失敗感なく、切れた満足感も味わえる。

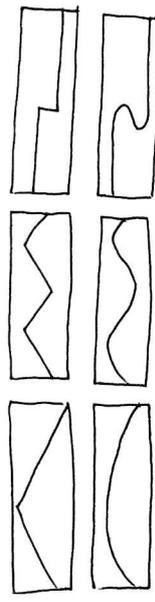
①でハサミの開閉ができておいたら、将来的に図案を切れるように線の上にハサミを当てていく練習をね

線に合せ
ハサミを進め2回位に
切り落とせよう

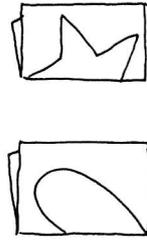


応用系編

④



* 曲線は、ハサミをどる前に止めないと角度が違って切り難いがある。



たぶと

《初めての人》 右きき用 (左ききの人は逆の手で行って下さい)

1. (ハサミの全体像を見せる)

右手でハサミをもち、左手の平にハサミのせ。
ハサミ全体の形を子どもに見せる。

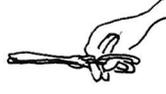


2. (ハサミを持つ)

ハサミを手の平にのせたまま、右手人差し指、中指を上、穴、親指を下、穴に順に入れる。

3. ハサミを体に垂直に立てて持つ

* 初めての人は、平首を返して立てて持つこと難しいので、切った時様子を見てその角度を教えていく。

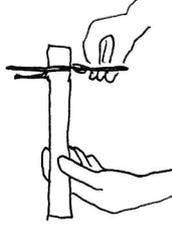


4. 空中でハサミを開閉し、切り動作を2・3回見せる。(ゆっくり)

5. 紙を左手ですくい上げるように左側を持つ

6. ハサミを開き、開いた部分に紙を持っていく

7. ハサミを閉じる。



《大人の姿》

* 一人でできるようにするために、1人がいいから、やり方を教えてあげる。

* 無理に子どもにやらせようとして、どう切っているのかを繰り返して見せてあげる。

* 子どもが目で追えるスピードで見せてあげる。

* 子どもが思っているように切っているために、どう手加減しているのかをよく観察し、手伝う (どこがわからず、難しいか) 子どもに合せて手助けする。